災害時の学校と家庭の連絡ルール

大きな地震が発生したとき

学校からの連絡

- 📱 連絡システム「**すぐーる**」で、学校の状況や下校方法をお知らせします。
- ⚠️ **学校への電話はご遠慮ください。**
- ⚠️教職員は、児童の安全確認と看護、寄り添いを最優先に行動します。

① 授業中に地震が発生した場合（震度５弱以上）

- ✅ **学校で児童の安全を確保します。**
- ✅ **保護者への引き渡しを行います。**
- ✅ **引き渡しまで、学校が責任をもって児童を看護します。**
- ✅ **「すぐーる」が届かない場合でも、震度５弱以上であれば、迎えに来てください。**

② 夜間・休日に地震が発生した場合（震度５強以上）

- ✅ 教職員が家族・自宅・地域・公共交通機関の安全確認次第学校に参集します。
- ✅ **学校に参集した教職員**が連絡窓口となります。
- ✅ 児童の安否や避難先について確認します。
- ✅ 学校の対応状況は「すぐーる」でお知らせします。

③ご理解ください

大規模災害では、道路の寸断や交通機関の停止などにより、教職員がすぐに学校へ参集できない場合があります。そのため、発災後数日は連絡窓口を開設できないことも想定されます。教職員が参集でき次第、速やかに連絡窓口を立ち上げ、「**すぐーる**」でお知らせします。

⚠️地震以外の災害発生時も、この連絡ルールを基本に行動していきます。